

伝統文化交流拠点施設

を整備します



伝統文化交流拠点施設と飛驒高山まちの博物館

市では、「高山市第八次総合計画」および「高山市歴史的風致維持向上計画」に基づき、旧森邸（旧図書館等跡地）において、飛驒高山まちの博物館と一体的に活用することで歴史的風致を向上させる拠点施設を整備していきます。

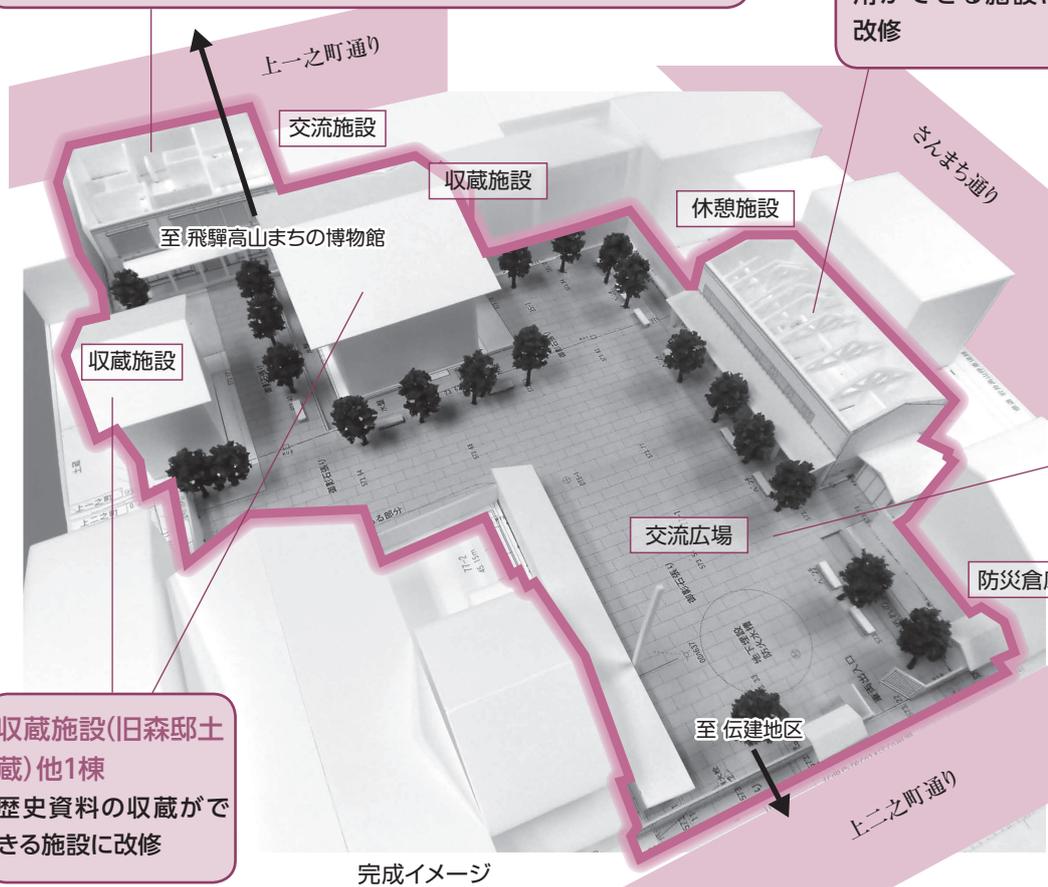
新しい施設では、伝統産業や伝承芸能などの振興、市民・観光客の交流と回遊性の向上を図るとともに、防災機能や伝統的建造物群保存地区（以下「伝建地区」という。）と調和のとれた町並に整備していきます。

休憩施設

休憩所、多目的トイレ、特産品展示・販売、情報発信等に利用できる施設に改修

交流施設

- 1階 伝統的工芸品などの美演、体験、販売などができる施設に改修
- 2階 着付けや伝統文化などの体験などができる施設に改修



完成イメージ

交流広場

地域の特産品販売やまちなかイベントなどの開催ができるよう交流広場として整備

収蔵施設(旧森邸土蔵)他1棟

歴史資料の収蔵ができる施設に改修

～旧森邸とは～

味噌醤油製造業を営んでいた森家が所有していた上一之町・上二之町地内の敷地および建物です。森家移転後は魚市場や市図書館として利用されました。現存する土蔵は明治31年の絵図にも記録され、往時の商家の様子を現代に伝える貴重な建築物です。

【整備方針】

- ・飛驒高山まちの博物館と伝建地区とをつなぐ拠点施設として、伝建地区にふさわしい景観に配慮した施設として整備します。
- ・市民、観光客が飛驒高山の文化、歴史等を体験できる施設として整備します。
- ・工芸品等の地場産品を展示販売できる施設として整備します。
- ・各種イベントの開催などにより市民や観光客が交流できる施設として整備します。

【整備のスケジュール】

- 平成29年度整備工事
- 平成30年度供用開始

問合せ先

文化財課
☎ 35・3156